



個人投資家様向け会社説明会

東ソー株式会社(証券コード:4042)

広報室長 松岡 克行

2021年6月22日

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 企業理念、CSR基本方針 | 11. 中期経営計画 |
| 2. 会社概要 | 12. 株主還元 |
| 3. 東ソーの歩み | 13. 株式情報 |
| 4. 業績動向 | 14. 脱炭素への対応 |
| 5. 東ソー製品のプレゼンス | 15. 社会課題への取り組み |
| 6. 身近な東ソー製品 | 参考資料 ①業績推移 |
| 7. 高い競争力を支えるインフラ | ②業績指標推移 |
| 8. 高効率なマテリアルフロー | ③株主メモ |
| 9. 成長事業 | ④ウェブサイトのご案内 |
| 10. 研究開発 | |
-

1. 企業理念、CSR基本方針

<企業理念>

私たちの東ソーは

“化学の革新を通して、幸せを実現し、社会に貢献する”。

<CSR基本方針>

企業理念の実現に向け、以下を基本方針として共有・実践します。

1. 事業を通じた社会の持続可能な発展への貢献

・社会課題を解決し、人々の幸福に寄与する製品を提供

2. 安全・安定操業の確保

・経営の最重要課題と認識し、真摯に取り組む

3. 自由闊達な企業風土の継承・発展

・人権と多様性を尊重する風通しの良い職場環境を育む

4. 地球環境の保全

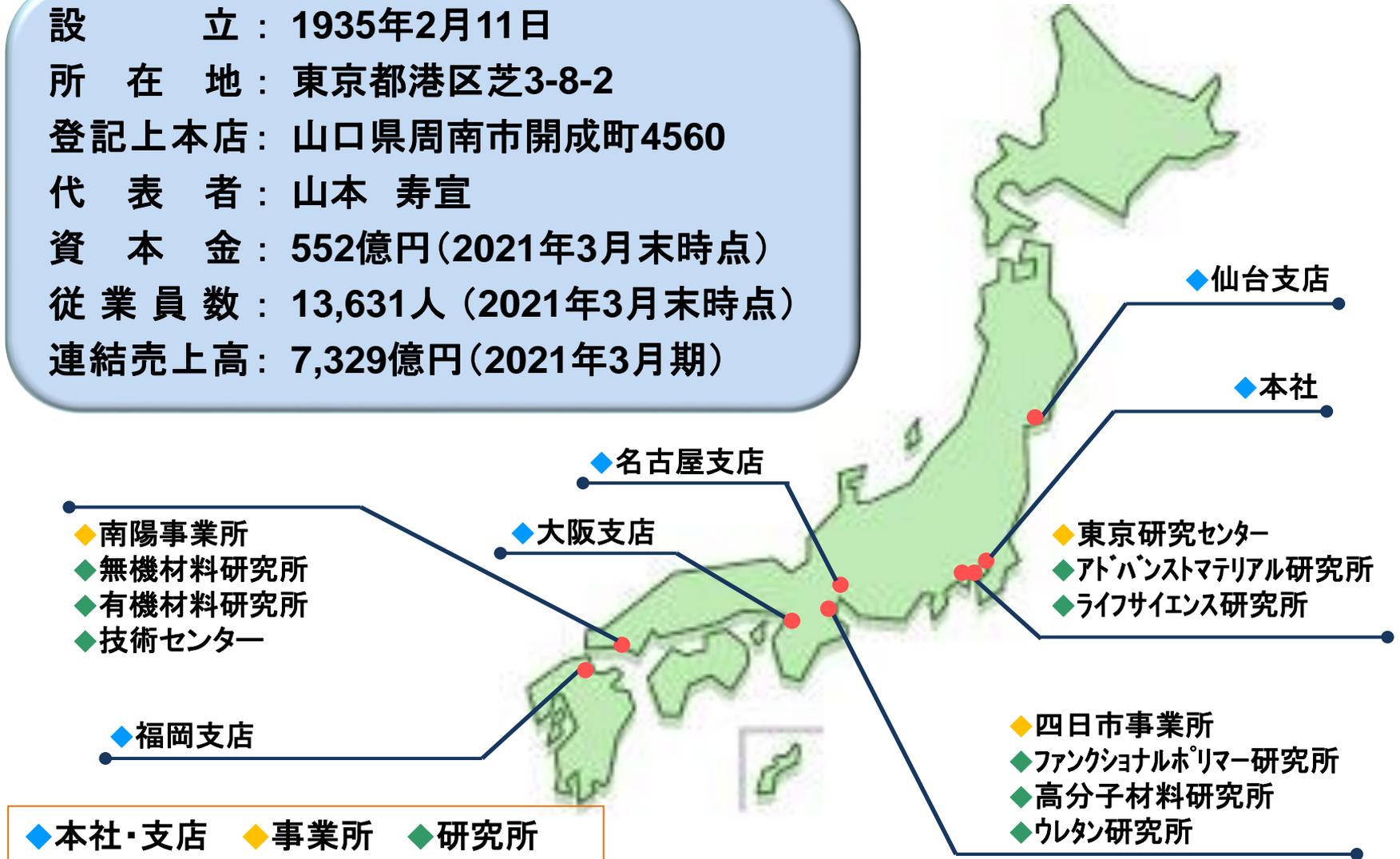
・環境負荷の最小化にバリューチェーン全体で取り組む

5. 誠実な企業活動の追求

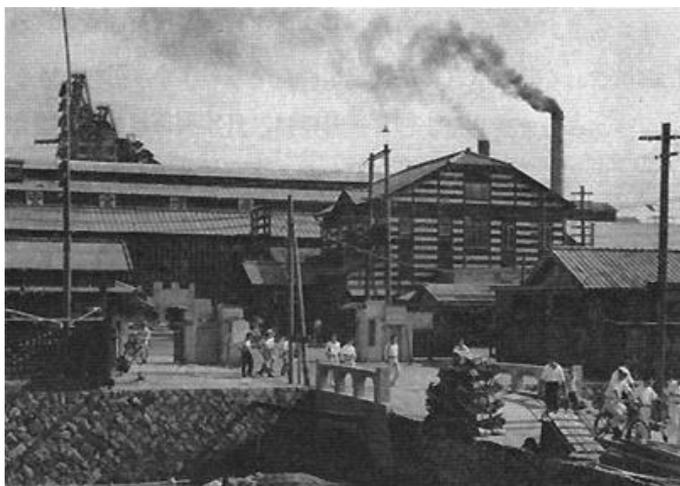
・誠実で透明性の高い企業活動を通じて、信頼される企業グループを実現

2. 会社概要

設 立： 1935年2月11日
所 在 地： 東京都港区芝3-8-2
登記上本店： 山口県周南市開成町4560
代 表 者： 山本 寿宣
資 本 金： 552億円(2021年3月末時点)
従 業 員 数： 13,631人(2021年3月末時点)
連結売上高： 7,329億円(2021年3月期)



3. 東ソーの歩み①



創業当時の南陽事業所

1. ソーダ工業から石油化学工業へ

- 東ソーは1935年2月11日、「東洋曹達工業」として現在の山口県周南市に誕生。
- ソーダ工業をはじめ、臭素、セメントなどを事業化。
- 1960年代後半からは、塩ビモノマー、ポリエチレン、合成ゴムといった石油化学工業へ参入、合わせて第2の拠点として、三重県四日市市に進出。

2. 総合化学へのステップアップ

- 1975年4月に「鉄鋼社」と合併。
- 1990年10月に「新大協和石油化学」と合併し、名実ともに四日市霞コンビナートにナフサクラッカーを有する総合化学会社となった。



四日市事業所のナフサクラッカー

3. 東ソーの歩み②



イソシアネート製造プラント

3. ビニルイソシアネートチェーンへの進化

- コモディティ製品では、1990年代に、南陽事業所の立地、インフラを最大限に活用して、塩ビモノマーと苛性ソーダを増設し、当社の中核事業となるビニルチェーン事業を拡大。
- 2000年代半ばより、ビニルチェーンにウレタン原料のイソシアネートを含めた、ビニルイソシアネートチェーンへ進化し2014年10月に「日本ポリウレタン工業」と合併。

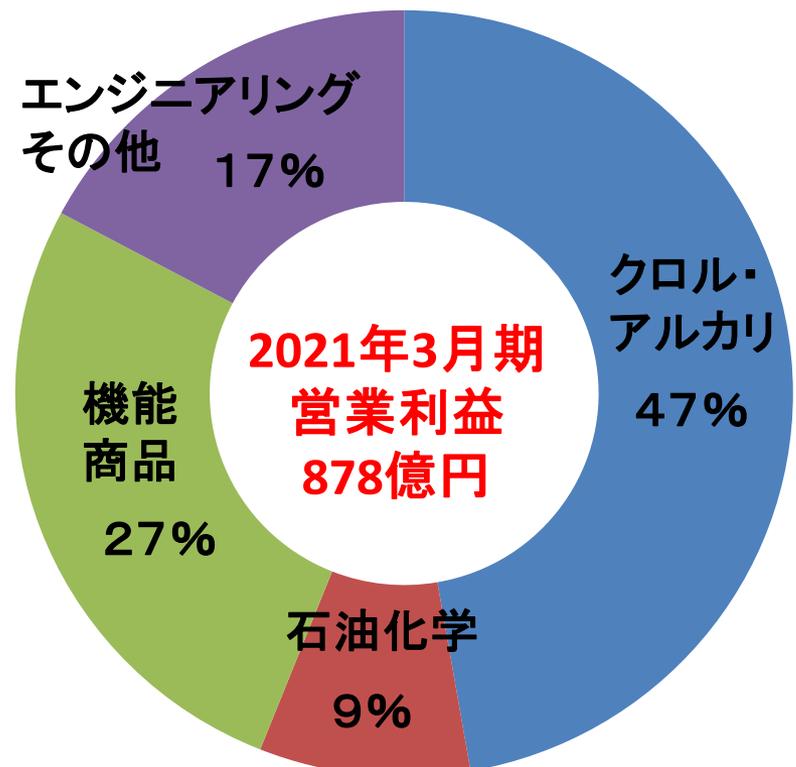
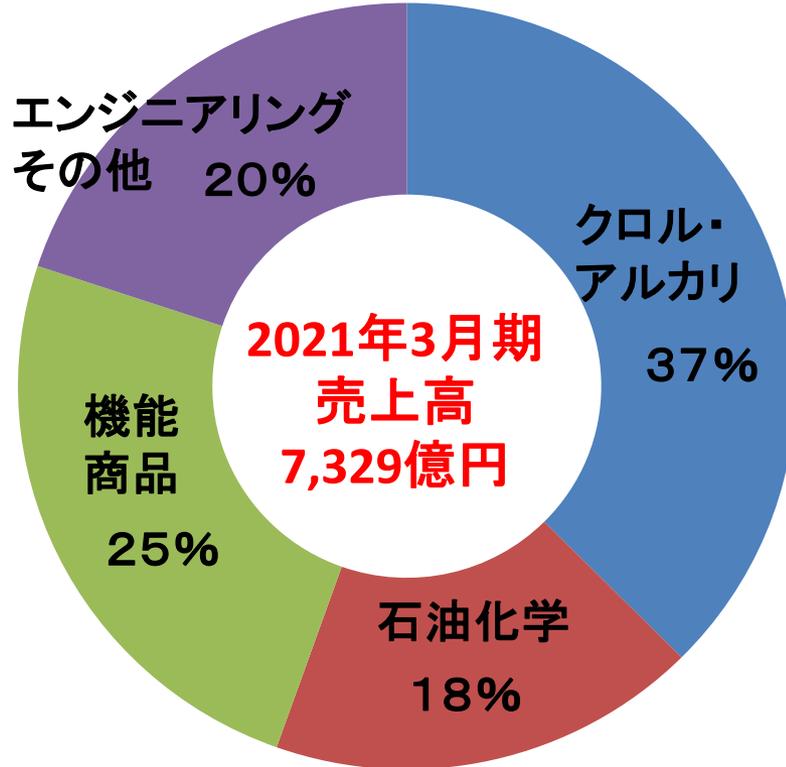
4. ハイブリッドカンパニーへの深化

- スペシャリティ製品では、南陽事業所でのみ生産していたジルコニア、合成ゼオライトを四日市事業所でも生産を開始。その後もバイオサイエンスを含むスペシャリティ製品への積極的な投資を継続。
- コモディティとスペシャリティをバランス良く強化し、「ハイブリッドカンパニー」としてさらなる深化を目指す。



合成ゼオライト製造プラント

4-1. 業績動向／事業ポートフォリオ



クロル・アルカリ

- 苛性ソーダ
- 塩ビ樹脂
- ウレタン原料
- セメント

石油化学

- エチレン
- プロピレン
- ポリエチレン
- クロロプレンゴム
- CSM

機能商品

- ジルコニア
- ゼオライト
- バイオサイエンス
- 石英ガラス
- 臭素

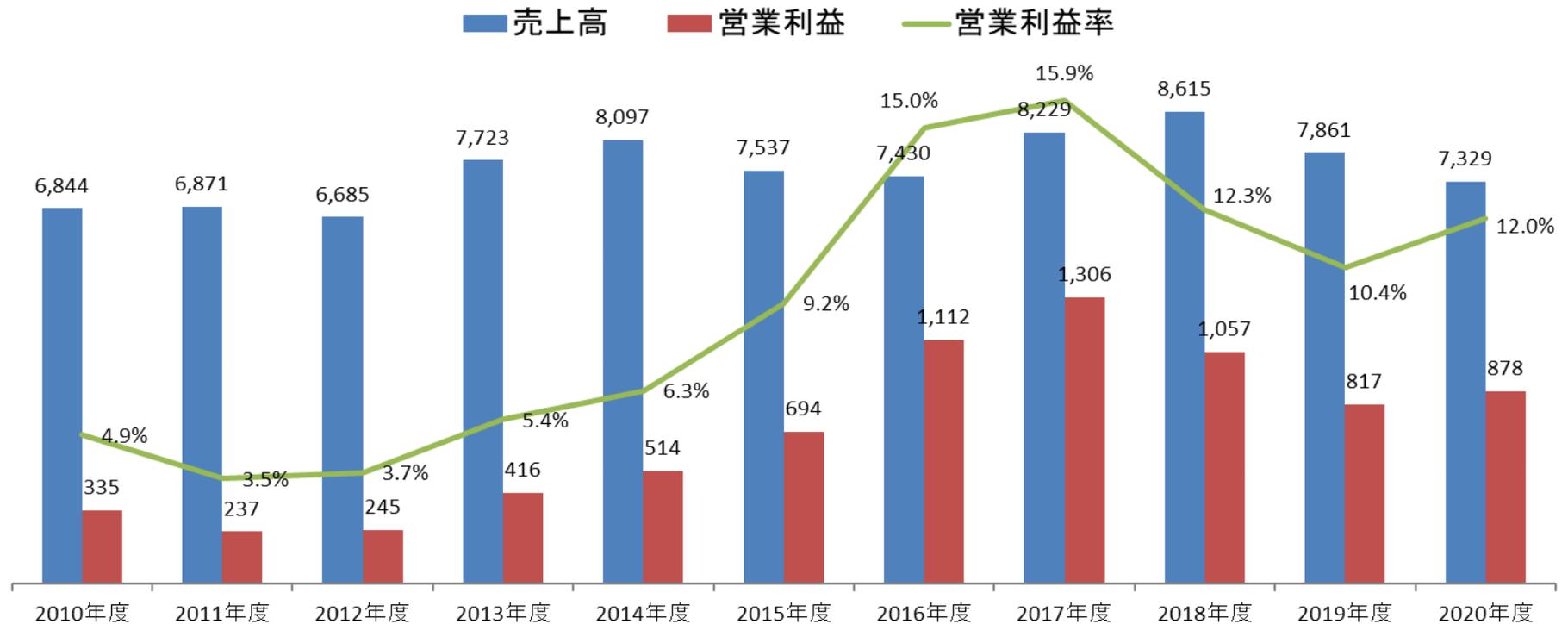
エンジニアリング その他

- オルガノ
- 東ソー分析センター
- 東ソー物流

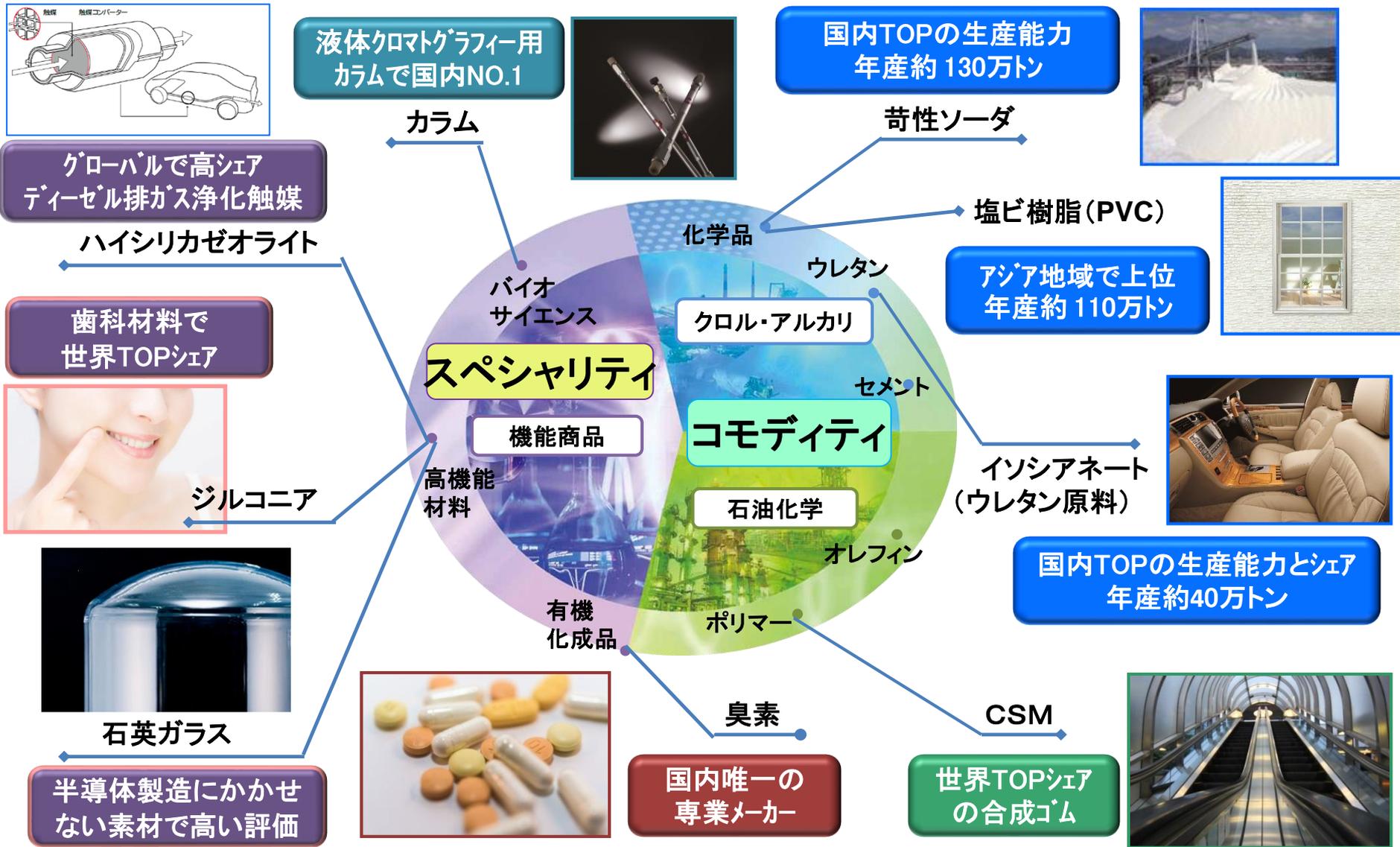
4-2. 業績動向／業績推移

「コモディティ」と「スペシャリティ」をバランス良く拡大する「ハイブリッド経営」戦略により、収益の安定・拡大を実現。10%超の営業利益率を継続。

- 「スペシャリティ」は、高い利益率の成長事業での能力増強を継続して実行、高シェアを維持。利益水準の底上げに大きく貢献。
- 「コモディティ」はクロル・アルカリ事業（塩ビ樹脂、苛性ソーダ、ウレタン原料など）の安定した需要成長を背景として収益の安定化が進展。さらに市況上昇の恩恵も受け、2017年度は史上最高益を更新。
- スペシャリティの利益拡大により、コモディティ市況が下がっても営業利益1,000億円を確保できる収益構造を目指す。



5. 東ソー製品のプレゼンス



6. 身近な東ソー製品／石油化学事業

石油化学事業



クッション材
(ポリエチレン)



医療用点眼容器
(ポリエチレン)



医療用輸液バック
(ポリエチレン)



壁紙
(ペースト塩ビ)



医療用手袋
(ペースト塩ビ)
(クロロプレングム)



太陽電池(EVA)



自動車・電子部品(PPS)



エスカレーター手摺
(CSM)

6. 身近な東ソー製品／クロール・アルカリ事業

クロール・アルカリ事業



合成皮革
(ウレタン)



自動車内装シートや塗料
(ウレタン)



スパandex繊維(ウレタン)



住宅断熱材(ウレタン)



冷蔵庫断熱材
(ウレタン)



断熱サッシ
(塩ビ樹脂)



床材(塩ビ樹脂)



水道インフラ(塩ビ樹脂)

6. 身近な東ソー製品／機能商品事業

機能商品事業



医薬原料(臭素)



糖尿病検査(バイオ)



歯科材料(ジルコニア)



自動車排気ガス浄化
(ゼオライト)



新型コロナ検査(バイオ)



高性能アルカリ電池
(二酸化マンガン)



半導体・液晶・メディア用材料(石英ガラス)



7. 高い競争力を支えるインフラ

- 単独企業・単一事業所として 国内最大級の発電能力(77.6万kw)
- 電力会社並みの発電能力
- 電気・蒸気を自給すると共に、余剰電力を中国電力へ売電
- コンビナート各社に電力を供給するエネルギーセンター

- 国内最大級の敷地面積(約300万㎡)
- ビニル・イソシアネート・チェーンを展開
- 競争力を支えるインフラ
- セメントプラント、臭素系・塩素系リサイクル設備を活用した資源の有効活用

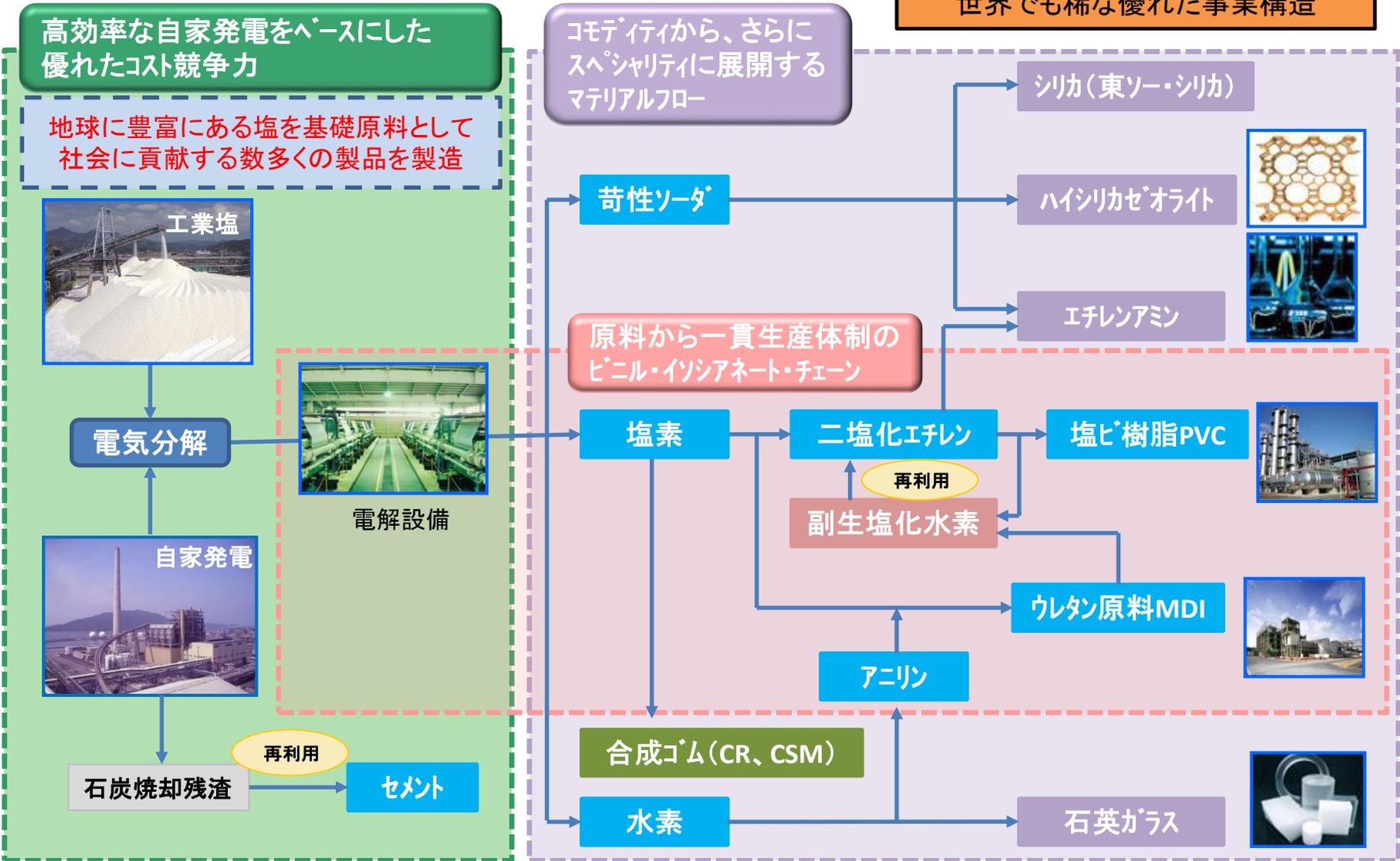


- 大小合わせて23の棧橋
- 原料塩、石炭などを合計1,000万トン超/年を海上輸送
- 5万トンクラスの船舶が接岸可能
- 中国・東南アジアに向けた輸出基地

- 石油化学事業の主要拠点
- 常時、高稼働運転ができるナフサクラッカー
- コンビナート各社にオレフィン製品を供給

8. 高効率なマテリアルフロー

「電解～塩ビ樹脂～ウレタン原料」
まで単独企業で一貫生産する
世界でも稀な優れた事業構造



計測分野

バイオ医薬品製造における分離精製剤など

- 液体クロマトグラフィー・・・溶液中の成分をカラムに詰めた担体(シリカの微粒子等)を通して分離・分析する方法
- 伸長著しいバイオ医薬品製造における有効成分の分離精製、品質管理、研究用試料の分析などに用いられる



イオンクロマトグラフ



分離精製剤



ゲル浸透クロマトグラフ



カラム

診断分野

臨床検査機器や体外診断用医薬品など

- 体外診断用医薬品・・・疾病の診断、予防、治療のために、患者から採取した検体(血液、尿、組織など)を分析して、種々の物質を測定するための医薬品
- 免疫検査(腫瘍マーカー、新型コロナ抗体等)、糖尿病検査、遺伝子検査(結核、新型コロナ等)の各分野で事業展開



糖尿病臨床検査装置



免疫検査装置



遺伝子検査装置



検査試薬

9-2. 成長事業／ジルコニア、石英ガラス

セラミックス審美歯科材料(ジルコニア)

- ・歯科材料分野で高強度で審美性に優れていることから需要が急拡大。
- ・当社製品は、自然な歯に近い光の透過性、高強度で割れにくいなど、その品質が高く評価され、需要伸長にも貢献。
- ・透光性と高強度を高いレベルで両立させ、ハイエンド領域で世界トップシェア。
- ・需要伸長により、2～3年毎に能力増強を実施。2019年に新規設備が稼働。

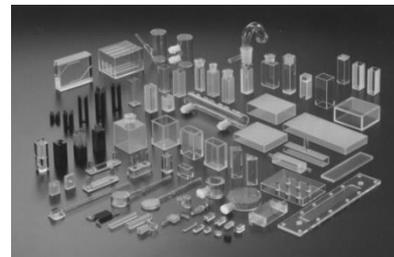
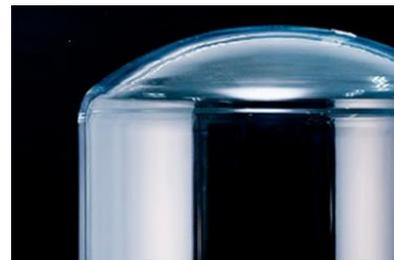


セラミックス装飾材料(カラージルコニア)

- ・ジルコニア特有の重厚感、そして深みのある色合い、優れた耐摩耗性などが評価されている。
- ・高級時計やモバイル家電などでの需要が増加している。

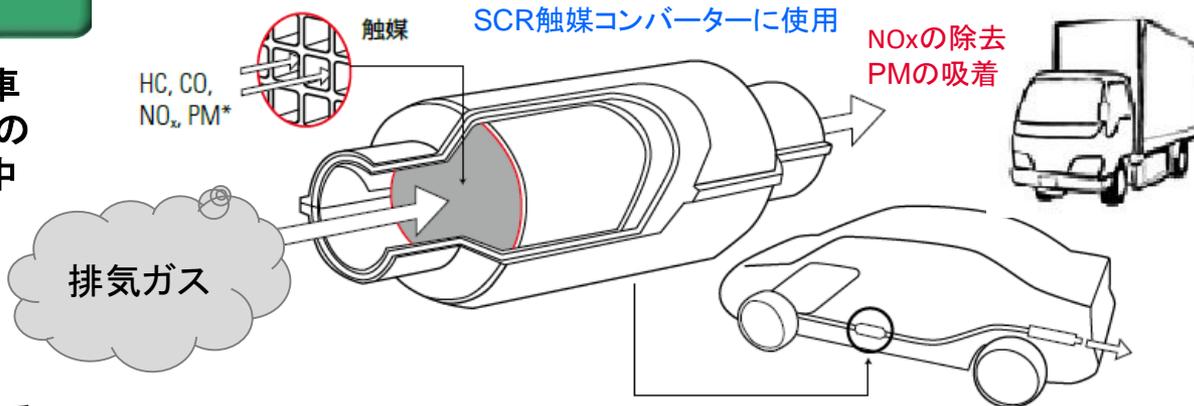
半導体製造向け材料(石英ガラス)

- ・石英ガラスは、半導体製造装置や光学、液晶パネル、有機ELパネルの製造にも欠かせない製品です。
- ・近年の半導体市場の拡大に伴い、半導体製造装置向けの需要も急速に拡大。
- ・半導体製造の高度化に合わせて、石英ガラスの品質向上を実現し、高く評価されている。
- ・今後も半導体市場は、5Gなどスマートフォンの大容量化、IoT機器やAI向け、電気自動車や自動運転技術の進展による車載向け需要の伸長等による市場の拡大が見込まれている。
- ・需要伸長により、当社は国内外の各拠点で能力増強を進めている。



ディーゼルエンジン排ガス浄化触媒 (ハイシリカゼオライト)

- ・ハイシリカゼオライトは、自動車エンジン、特にディーゼルエンジンの排ガス浄化触媒として、世界中で使用されている。
- ・自動車排ガス規制は、先進国だけでなく新興国においても年々強化されており、排ガス浄化触媒の需要が拡大している。
- ・全世界において、トラックなどでのEVの普及には乗用車以上に時間を要する。排ガスの環境規制をクリアできる重要な素材として需要が伸長している。
- ・VOC（揮発性有機化合物）の排出規制など環境規制強化が一段と進み、吸着性能に極めて優れていることから、環境分野で広く利用されることが見込まれる。
- ・需要伸長により、2～3年毎に能力増強を実施。2019年に新規設備が稼働。



医療用手袋素材(クロロプレンゴム)

- ・主に手術、検診等の医療現場において使用されるゴム製手袋の素材として、クロロプレンゴムは他のゴムに見られるアレルギーリスクが格段に低い上、装着感の良さが評価され、需要が拡大。
- ・需要伸長により能力増強を実施。2020年夏に新規設備が稼働予定。



10-1. 研究開発／基本方針、主な施策

新製品の開発加速

- オープン・イノベーションによる外部技術の活用
- 共同研究等による新技術の育成・獲得（東京大学、産業技術総合研究所など）
- 新研究棟で研究資源(人・設備)を適正配置、業務効率化&シナジー創出
 - ⇒ 2019～2020年：四日市事業所、南陽事業所において新研究棟が完成
 - ⇒ 2024年：東京研究センターで新研究棟を新設（先端技術研究拠点）
- ユーザーとの共同開発で製品化加速
 - ⇒ 2019年8月：四日市事業所にカスタマーラボ棟を新設
最新鋭の「9層水冷インフレーション成型装置」を導入

四日市事業所 新研究棟



南陽事業所 新研究棟



東京研究センター 完成イメージ



MI (マテリアルズ・インフォマティクス)技術構築による材料設計の効率化

- 外部連携・人材確保でMI技術構築を促進
 - ⇒ 全研究員への電子実験ノートの導入によるデータ構築
 - ⇒ 2019年4月：MI専任スタッフで構成するチームを編成（東京研究センター内）
 - ⇒ 2023年度にMIセンターを設立予定（MIチームを拡充発展）

SDGs を踏まえた研究開発の推進

- SDGs を踏まえた研究テーマの優先付け
- 社会課題解決型のオープン・イノベーション推進

ライフサイエンス分野

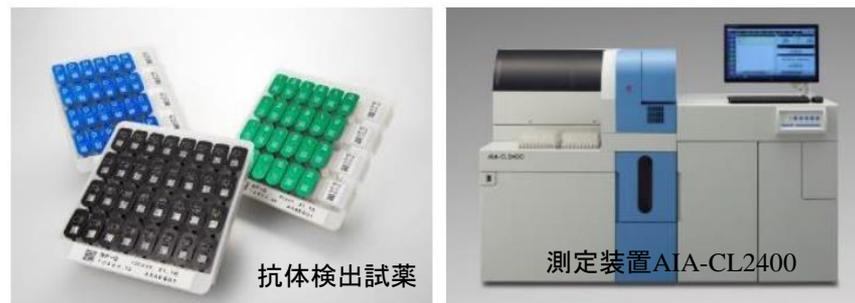
① 新型コロナウイルス検査試薬を販売開始

- 遺伝子検査の一種である“TRC法”を用いた新型コロナウイルス検出試薬を開発、2020年8月より販売開始。全自動検査のため作業負担が少ないうえ、新型コロナウイルスを約40分程度で高感度に検出可能。



② 新型コロナウイルス抗体検出試薬4種を販売開始 (横浜市立大学などとの共同開発)

- 当社の全自動化学発光酵素免疫測定装置の専用試薬として、新型コロナウイルスのたんぱく質に対する抗体を検出できる研究用試薬4種を開発、販売開始。ワクチン接種後の免疫獲得状態の把握などに貢献。



③ 新規卵巣がんマーカーの測定試薬を開発

- 卵巣がん診断の補助に用いられる腫瘍マーカーの測定試薬を本年7月下旬より販売開始予定。本試薬は卵巣腫瘍の良性・悪性の判別、特に明細胞がんの推定に有効。当社専用装置で20分で測定可能。

電子材料分野

可溶タイプ導電性高分子(セルフトロン)を開発、用途開発推進中

- セルフトロンは“世界トップレベルの高導電性”と“可溶性”を両立する高分子。可溶性なので塗布・含浸により、あらゆる素材に導電性を付与できる（導電性樹脂、導電性繊維etc.）。幅広い分野での使用が期待されコンデンサなど用途開発を推進中。



コンデンサ



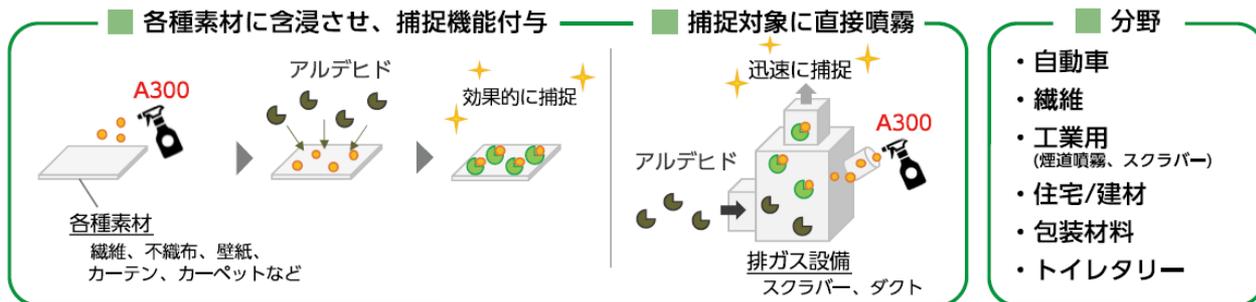
タッチパネル(イメージ)

環境・エネルギー分野

高性能アルデヒド捕捉剤(エミデリート)を開発、用途開発推進中

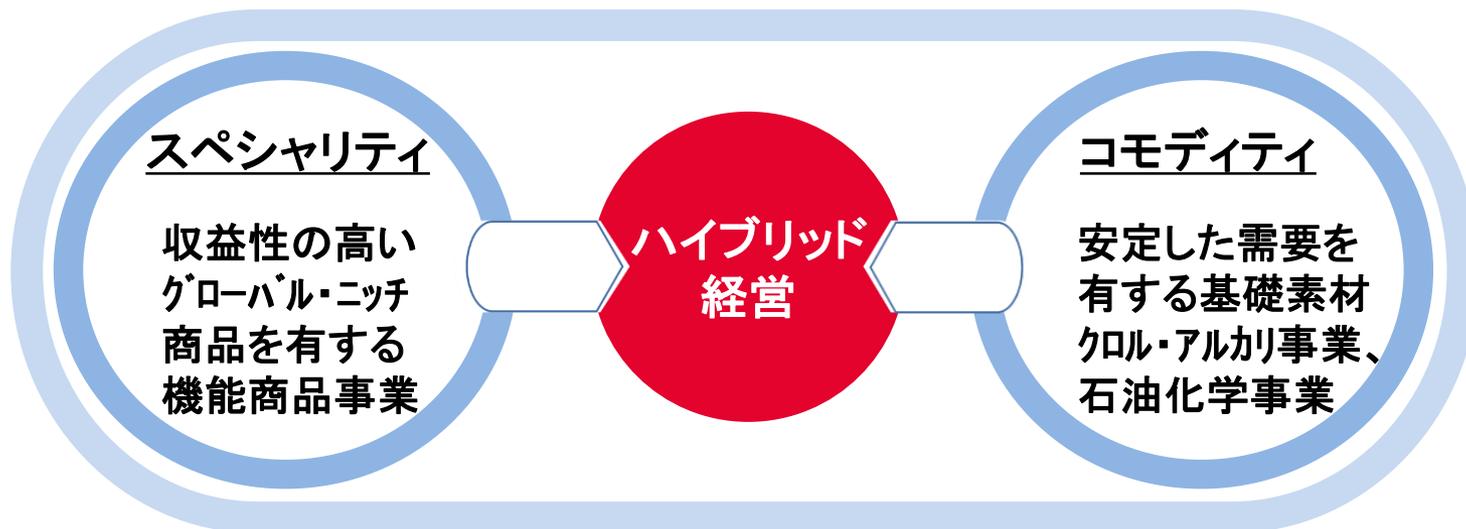
- エミデリートはシックハウス症候群の原因物質であるアルデヒド類を高効率かつ高速で捕捉。従来捕捉が困難であったアセトアルデヒドの捕捉性能にも優れ、またアミン類、アンモニア、硫化水素などの不快な匂い成分も捕捉可能。

住宅室内や自動車内におけるVOC対策、消臭に有効な捕捉剤として用途開発中。スプレー噴霧の使用も可能など幅広い可能性を持つ。



11-1. 中期経営計画／経営方針

- コモディティとスペシャリティ双方をバランス良く強化し、環境変化に強い事業ポートフォリオを構築



2019～2021年度中期経営計画での位置付け

【**スペシャリティ**：高機能で高利益率、損益安定も優位性維持には継続開発が不可欠】

- 成長分野の差別化・能力増強による事業規模の拡大
- 新規事業の育成

【**コモディティ**：外部環境で損益変動も基礎素材ゆえに需要は底堅い】

- ビニル・イソシアネート・チェーンの基盤強化と能力増強
- 石油化学事業の高付加価値化

11-2. 中期経営計画／経営指標

- 2020年度：新型コロナによる需要減少により上期は業績低迷。下期に入り需要が回復、コモディティ海外市況高騰もあり、前年比で増益を確保。
- 2021年度：需要回復傾向、クロール・アルカリ海外市況の上昇もあり増収増益。しかし、コロナ前の想定水準までには需要回復見込めず、中計は未達。

(億円)

経営指標	2020年度 実績	2021年度 予想	差異		2021年度 中計目標	
			vs. 20実績	vs. 21中計		
売上高	7,329	8,000	671	△900	8,900	
営業利益	878	930	52	△170	1,100	
営業利益率	12.0%	11.6%	-0.4%	達成	10%以上	
R O E	10.7%	9.4%	-1.3%	未達成	10%以上	
前 提	ドル 円/\$	106	105	△1	△5	110
	ユーロ 円/€	124	125	1	0	125
	ナフサ 円/kl	31,200	45,000	13,800	△1,000	46,000

※営業利益全体に占めるスペシャリティ<注1>の割合：2020年度実績 38.7% ⇒ 2021年度予想 44.8%

<注1> スペシャリティ = 機能商品セグメント+石化セグメントの機能性ポリマー製品+クロアリセグメントの機能性ウレタン製品

11-3. 中期経営計画／セグメント別業績

- 2020年度：石油化学、機能商品が新型コロナによる需要低迷等で苦戦。クロール・アルカリは夏以降の需要回復し、市況上昇もあり大幅増益。
- 2021年度：石油化学・機能商品はコロナ前の想定水準まで数量・市況とも回復せず中計は未達見込み。クロール・アルカリは需要堅調で中計達成見込み。

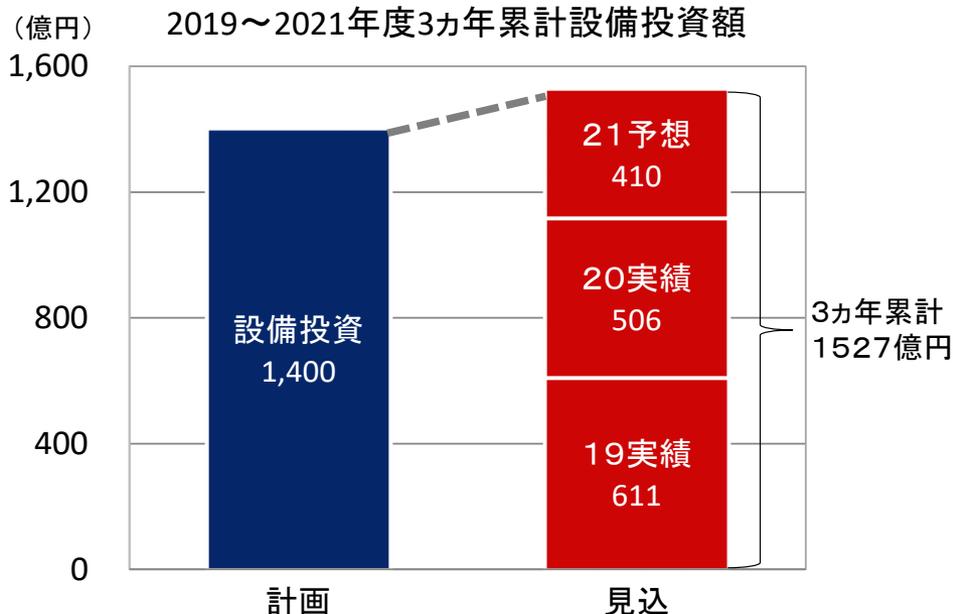
(億円)

セグメント別		2020年度 実績	2021年度 予想	差異		2021年度 中計目標
				vs. 20実績	vs. 21中計	
売上高	石油化学	1,314	1,482	168	△268	1,750
	クロール・アルカリ	2,749	3,015	267	△175	3,190
	機能商品	1,806	2,084	278	△306	2,390
	エッセンス他	1,460	1,419	△41	△151	1,570
	合計	7,329	8,000	671	△900	8,900
営業利益	石油化学	77 5.9%	103 6.9%	26 1.1%	△47 -1.6%	150 8.6%
	クロール・アルカリ	415 15.1%	415 13.8%	0 -1.3%	5 0.9%	410 12.9%
	機能商品	235 13.0%	287 13.8%	51 0.7%	△143 -4.2%	430 18.0%
	エッセンス他	151 10.3%	125 8.8%	△26 -1.5%	15 1.8%	110 7.0%
	合計	878 12.0%	930 11.6%	52 -0.4%	△170 -0.7%	1,100 12.4%

<注> 営業利益欄記載の%は売上高営業利益率

11-4. 中期経営計画／設備投資

- 中計の3カ年計画に沿って設備投資を実施、累計投資額は計画を上回る見通し
- M&Aはバイオサイエンス関連中心に探索・入札も、落札には至らず
- 2016年度以降、事業基盤の拡大・強化に向け、償却費を上回る投資水準を継続



【主な投資案件】

コモディティ

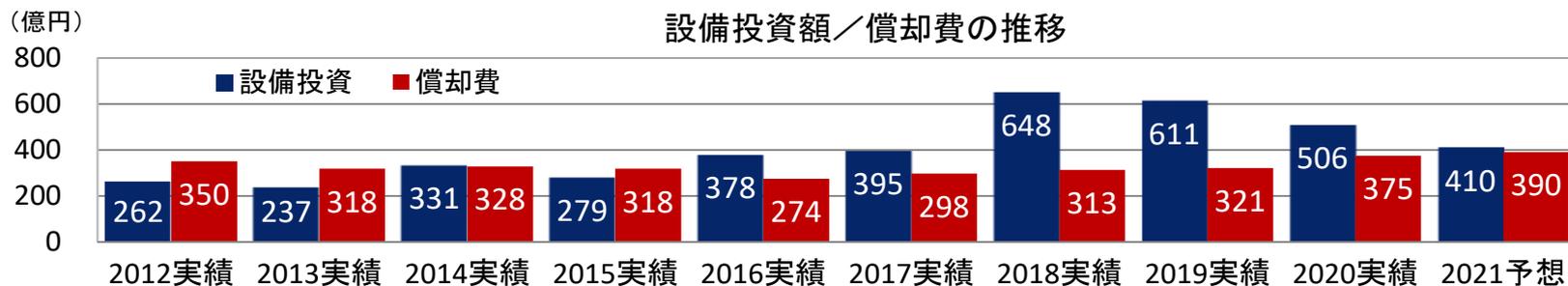
- ・発電設備効率化
- ・発電ボイラのバイオマス混焼対応
- ・高度さらし粉(スクラップ&ビルド)

スペシャリティ

- ・クロロプレンゴム(デボトル)
- ・グリコカラム・溶離液(自動化)
- ・臭素(スクラップ&ビルド)
- ・石英ガラス素材&加工品(増設)

インフラ

- ・総合物流倉庫新設
- ・エチレン・VCM船更新
- ・新研究棟

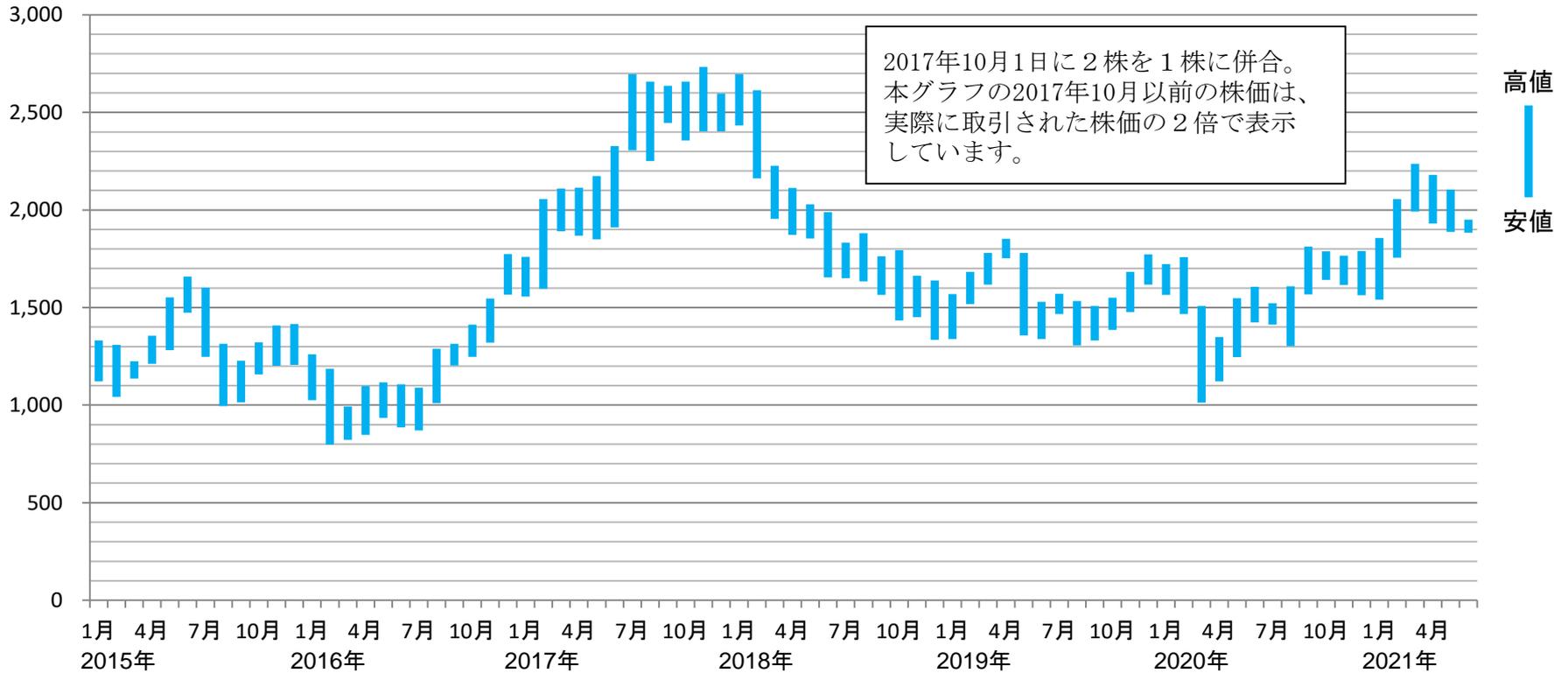


12. 株主還元

- 安定配当の継続が基本
- 配当は期間業績、フリーCF、将来の事業展開等を総合的に勘案して決定
- 配当性向は30%程度を目安とする



13. 株式情報



発行済株式数 325,080,956株

EPS (会社予想) 188.59円(5月末時点)

配当利回り(会社予想) 3.1%(5月末時点)

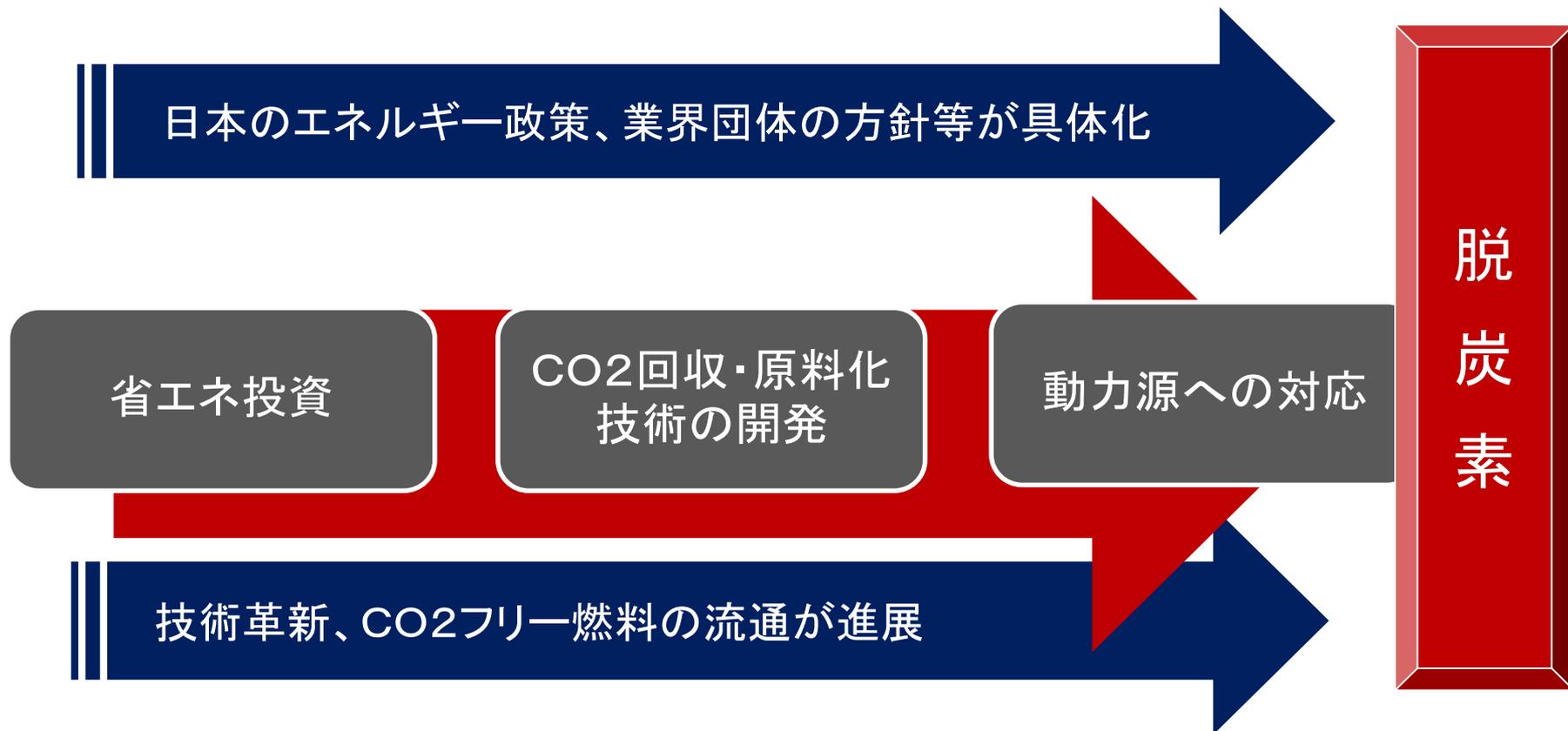
単元株数 100株

PER (会社予想) 10.14倍(5月末時点)

最低購入代金 約20万円

14-1. 脱炭素への対応／CO2削減への施策

- ✓ 日本のエネルギー政策、業界団体の方針、技術革新の動向、CO2フリー燃料の流通状況等を踏まえ、脱炭素に向けた諸施策を前広に遅滞なく実施
- ✓ 政府目標(2030年に2013年比46%削減)達成には革新的技術の確立が不可欠



- 2018年 CO2削減・有効利用推進委員会の設置
- 2021年 CO2削減・有効利用戦略室、南陽/四日市タスクフォースチームによる取り組み推進・加速

14-2. 脱炭素への対応／CO2削減への施策

● 省エネ投資等の前倒しによるCO2排出削減の加速

- ① 省エネ投資は積極的に前倒しで実施
- ② 電解槽の省エネ改造(自社開発の省エネ電解槽導入) → 2009年度～順次実行中
- ③ 発電設備に最新技術導入(最新鋭タービン・ローター導入) → 2019年度～順次実行中
- ④ 発電ボイラでのバイオマス(建築廃材等)混焼増による石炭使用量削減 → 2020年度～順次実行中
- ⑤ エネルギー多消費プラントの設備改造による省エネ推進 → 技術開発加速

● CO2の回収・原料化による排出削減・外部への技術提供

- ① CO2分離回収材の開発 → 優先順位上げて自社開発中
- ② アミン担持型高分子膜によるCO2分離回収技術の開発 → NEDO事業
- ③ 火力発電排ガス中のCO2を直接アミンと反応させ有用化学品を合成する技術の開発 → NEDO事業

NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

● プラント動力源への削減対応は遅滞なく実行

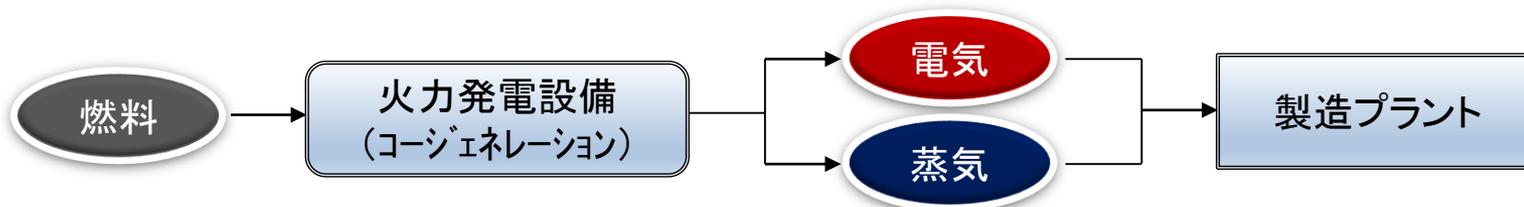
プラント動力源への対応オプションとしては以下を想定、“環境や社会への貢献度”、“経済合理性”等を総合的に勘案して対応策を決定

- ① CCS／CCUS(CO2回収・有効利用・貯留)によるCO2排出削減
- ② 一部電力を自家発電からCO2フリー電力購入へ切り替え
- ③ CO2フリー水素・アンモニアへの燃料転換
- ④ 現行自家発電を継続し、排出権枠購入や国内外での植林等でオフセット
- ⑤ ①～④の組み合わせによるネットCO2排出削減

実行にあたっては、「国際競争力の確保」や「製造コストの低減」が課題となる

14-3. 脱炭素への対応／コージェネによる高い発電効率

- 化学品の製造には“電気”に加え“蒸気”が必要
- コージェネ火力発電では、発電の際に生じる蒸気を最大限に有効利用



〈注1〉コージェネレーション：発電の際に生じる熱を回収して利用するシステム

- 当社のコージェネ火力発電における蒸気を含めた発電効率は、最高効率とされる超々臨界圧発電方式を上回る

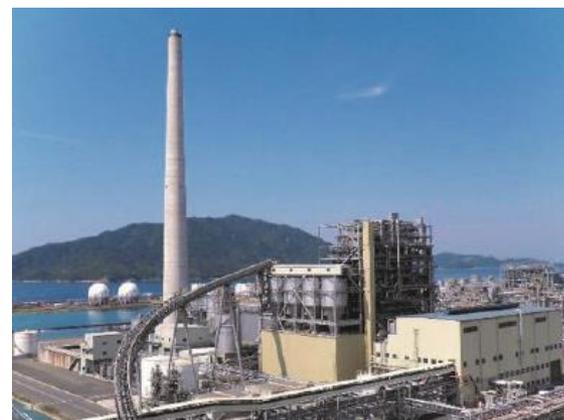
※「発電事業者(発電量の1割以上を売電)が所有する発電効率43%未満の石炭火力発電設備が規制対象」との方向性を政府が発表。当社は発電事業者ではなく、また所有する設備の発電効率は43%以上。

§ 石炭火力発電の発電効率

	発電方式 〈注2〉		
	亜臨界圧	超臨界圧	超々臨界圧
発電効率	38%以下	38～40%程度	41～43%程度

〈注2〉 蒸気タービン発電は、蒸気の温度や圧力を上げることで発電効率が上がる。

電気と蒸気を必要とする化学品の製造では
コージェネ自家発電により『エネルギーの有効利用』と『プラントの安定稼働』を実現



〈自家発電所〉

15-1. 社会課題への取り組み／社会貢献製品①

当社は、社会課題の解決に貢献する製品を数多く提供しています。

環境負荷の少ない省エネ素材

【塩ビ樹脂】

原料の約6割が地球上に豊富にある塩でできている「塩ビ樹脂」は、他のプラスチック素材に比べて石油由来原料の割合が少ないことから、環境にやさしい素材と言えます。水道管や農業用フィルム、壁紙・床材など世界各地で人びとの生活を支えるインフラ・建材として、優れた断熱性能を発揮する樹脂窓では省エネに貢献する素材として広く使われています。



廃棄物利用で循環型社会に貢献

【セメント】

インフラ材料の代表であるセメントでは、社内外から廃棄物を受け入れ、セメント原料として有効利用しています。廃棄物は石炭灰をはじめ、廃家電や廃プラなど幅広く利用。さらに製造時の燃えがらを原料に再利用することで二次廃棄物を発生させません。セメントプラントは私たちの暮らしを支えるだけでなく、「資源リサイクル工場」としての役割も担っています。



見えない身の回りで省エネ貢献

【ウレタン原料(MDI)】

小さな泡の集合体で、断熱性能に優れた素材として住宅や家電など身の回りで活躍しているウレタン。建築分野では住宅の壁などに使用され、室内を保温し冷暖房効率の改善に力を発揮、冷蔵庫ではぐるりと囲むように使用され、庫内温度を保ち消費電力を節約するなど、人びとの暮らしの中で省エネルギーに貢献しています。



有害重金属から自然環境を守る

【重金属処理剤】

重金属処理剤は、工業排水やゴミ焼却灰に含まれる有害な重金属（亜鉛、水銀、カドミウムなど）が水に溶け出さず、自然環境に流出しないような効果があります。環境規制強化に伴う重金属処理ニーズの高まりに対応して高い処理性能を実現し、近年は海外でも環境規制が強化されているため重金属処理剤の必要性が一段と増しています。



15-2. 社会課題への取り組み／社会貢献製品②

当社は、社会課題の解決に貢献する製品を数多く提供しています。

自動車排ガスから地球環境を守る 【ハイシリカゼオライト】

優れた吸着性能や耐熱性を有する特性を生かして、自動車排ガスの無公害化を果たす重要な役割を担っているハイシリカゼオライト。特にディーゼルエンジンの排ガス浄化触媒として世界中で使用されています。世界各国で、大気汚染を引き起こす窒素酸化物(NOx)などの排出規制が年々厳しくなっている中、数少ない供給メーカーとして貢献しています。



人びとの健康と医療に貢献 【新型コロナ検査試薬】

新型コロナウイルス流行を受け迅速な開発に取り組み、2020年夏に販売を開始しました。ウイルスを高感度かつ簡単な操作で、約40分で検出が可能で、検査作業の効率化、検査従事者の作業負担を大幅に軽減でき、感染拡大防止や検査体制の拡充にもつながっています。さらに新型コロナウイルス抗体検出試薬も提供しています。



廃プラの循環利用も可能に 【廃プラのリサイクル助剤】

プラスチックごみ問題を背景にリサイクルの重要性が増すなか、複数の素材が使われた多層フィルムなどの複合プラスチックのリサイクルが課題となっています。異素材が混在するプラスチックのリサイクルは難しいのですが、開発したリサイクル助剤を使用することで再生材の性能低下という課題を解決することが可能です。



大幅省エネ技術が36カ国で採用 【苛性ソーダ製造新型電解槽】

塩ビ樹脂の原料となる塩素と、各種工場で利用される苛性ソーダは、塩水を電気分解する電解槽という装置で生産されます。電解槽は電力多消費のため省エネ性能が非常に重要。当社が提携企業と開発した最先端の新型電解槽は世界36カ国で採用され、導入企業先でのCO2排出削減量が算出すると年間で約900万トンに上り環境負荷の低減に貢献しています。



ご清聴ありがとうございました。

《注意事項》

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想です。

従いまして、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、

実際の業績は計画値と大幅に異なる可能性があります。

参考資料① 業績推移

(単位:億円)		2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021年度 予想
機能商品	売上高	1,534	1,749	1,745	1,759	1,871	1,974	1,850	1,806	2,084
	営業利益	192	300	327	354	339	353	279	235	287
	営業利益率	12.5%	17.2%	18.7%	20.1%	18.1%	17.9%	15.1%	13.0%	13.8%
石油化学	売上高	2,235	2,237	1,754	1,617	1,748	1,839	1,591	1,314	1,482
	営業利益	148	69	116	201	225	134	103	77	103
	営業利益率	6.6%	3.1%	6.6%	12.4%	12.9%	7.3%	6.5%	5.9%	7.0%
クロール・アルカリ	売上高	2,863	2,943	2,798	2,797	3,350	3,374	2,974	2,749	3,015
	営業利益	39	83	180	479	666	460	282	415	415
	営業利益率	1.4%	2.8%	6.4%	17.1%	19.9%	13.6%	9.5%	15.1%	13.8%
エンジニアリング その他	売上高	1,092	1,167	1,239	1,257	1,259	1,427	1,445	1,460	1,419
	営業利益	37	61	72	78	76	110	152	151	125
	営業利益率	3.4%	5.2%	5.8%	6.2%	6.0%	7.7%	10.5%	10.3%	8.8%
合計	売上高	7,723	8,097	7,537	7,430	8,229	8,615	7,861	7,329	8,000
	営業利益	416	514	694	1,112	1,306	1,057	817	878	930
	営業利益率	5.4%	6.3%	9.2%	15.0%	15.9%	12.3%	10.4%	12.0%	11.6%

(単位: 億円)	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021年度 予想
設備投資額	237	331	279	378	395	648	611	506	410
減価償却費	318	328	318	274	298	313	321	375	390
研究開発費	125	129	137	144	155	166	182	195	210
有利子負債	2,862	2,715	1,996	1,398	1,078	1,011	959	1,265	920
金融収支	▲ 26	▲ 17	▲ 7	0	6	10	8	4	4
自己資本比率	30.4%	37.8%	46.3%	52.8%	58.0%	61.6%	64.0%	62.6%	66.0%
従業員数(人)	11,421	11,594	12,037	12,292	12,595	12,955	13,336	13,631	14,000

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.tosoh.co.jp)
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱所 郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

東ソー株式会社 公式サイト

<https://www.tosoh.co.jp/>



東ソー株式会社 CSRサイト

<https://www.tosoh.co.jp/csr/>



東ソー株式会社 投資家情報サイト

<https://www.tosoh.co.jp/ir/>



東ソー株式会社 公式サイト映像ライブラリ

<https://www.tosoh.co.jp/company/movie/index.html>

